



鬼高っ子

令和3年度学校だより 1月号
令和4年1月6日発行
市川市立鬼高小学校 No.10
文責：校長 早川淳子



学校教育目標 「未来を創る」 ～他者とともに 自分らしく生きる 鬼高っ子～



①思いやりの心を持って ②人間性豊かに ③たくましく ④かがやく未来へ

新年、あけましておめでとうございます。良いお天気に恵まれた、穏やかなお正月でしたね。皆さん、どのようにお過ごしでしたか？ しかし、心配されていた通り、コロナの再拡大が始まってしまいました。子供たちの学びを守るため、緩みかけた気を引き締めなくてはなりません。引き続き、感染防止策へのご協力をお願いいたします。

12月に「新たな学校生活スタイルガイドライン」による制限が一部緩和され、例えば児童同士の間隔については、鍵盤ハーモニカやりコーダーは最低2m以上が1.5m以上に、合唱は最低1.5m以上が1m以上になりました。教室では指使いの練習しかできませんが、1・2年生は体育館で鍵盤ハーモニカの練習を行い、ようやく音を出すことができるようになり、とてもうれしそうです。マスク着用のままですが音楽室での授業で合唱もできるようになり、ルールをしっかりと守りながら一生懸命に練習をしている様子から、音や声を出せる喜びを感じていることが伝わってきます。そんな子供たちの健気な姿を見るにつけ、制限が再度強化されることのないよう祈るばかりです。



一人1台タブレット



1・2・3年生のタブレットが1月6日に学校に搬入され、中旬頃からタブレットを授業で使用できるようになります。まだ、ローマ字が十分に身につけていない子供たちですので、4年生以上のようにキーボードでの文字入力までは難しいと思いますが、少しずつ学習活動での活用慣れていくよう取り組んでいきます。また、これに伴い、12月には、5・6年生の教室にあった充電保管庫が1～3年生の教室に移設され、5・6年生は毎日タブレットを自宅に持ち帰り、宿題や自主学習に活用し充電をして持参するようになっていきます。学校や家庭で、ルールを守り慎重に扱うよう指導していきます。

1月の主な行事



6日	木	3学期始業式（放送） 3校時日課 下校11:30	18日	火	3年生 認知症サポーター講座
7日	金	3校時日課 下校11:45	19日	水	まなびくらぶ 4年14:25～
8日	土	わんぱく広場	20日	木	ICT支援員 2年
10日	月	（祝日）成人の日	21日	金	ALT6年 まなびくらぶ 3年14:40～
11日	火	給食開始	25日	火	ICT支援員 1年
12日	水	6年生 ポッチャ体験 東京パラ日本代表監 覧来校 まなびくらぶ 4年14:25～	26日	水	5年生「夢先生」(オンライン)～28日 PTA運営委員会・しらさぎ委員会 まなびくらぶ 4年14:25～
13日	木	ICT支援員 3年	28日	金	まなびくらぶ 3年14:40～
14日	金	月曜日課 委員会活動 ALT6年 まなびくらぶ 3年14:40～	31日	月	クラブ活動



学校評価 保護者アンケート（12月）結果

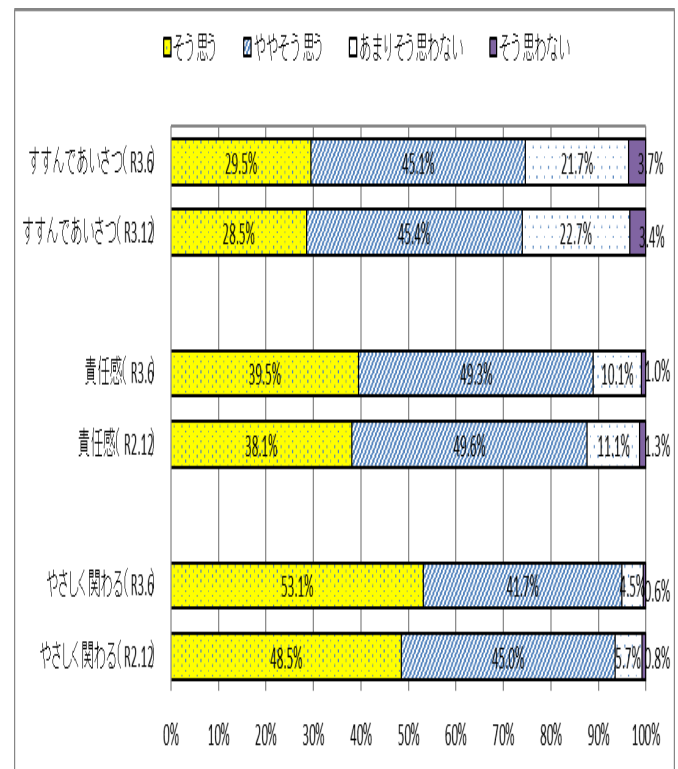
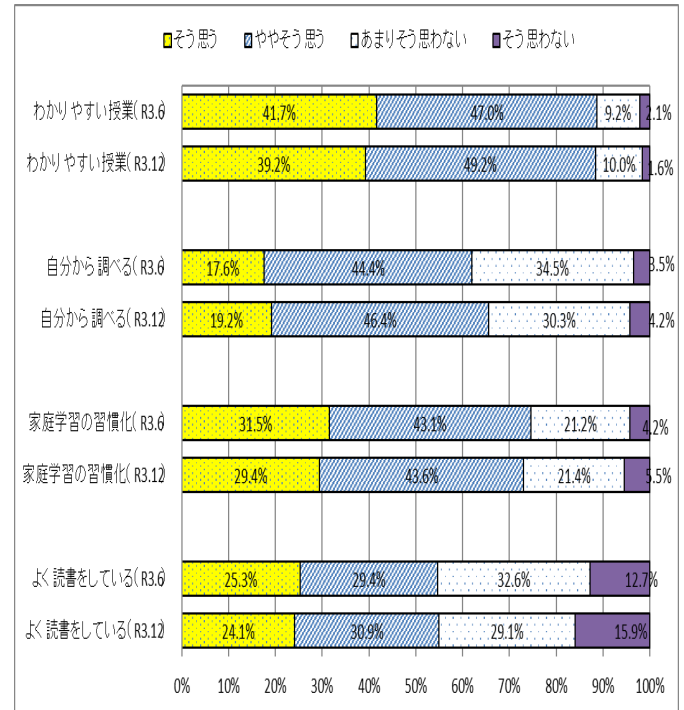
12月にご協力いただいた学校評価保護者アンケート結果についてご報告いたします。6月のアンケート結果と比較しながら分析し、3学期からの学校運営に生かしてまいります。職員一同、子供たちが楽しく学校に通い、学べるよう、より一層努力していきます。保護者の皆様には、これまで同様ご協力をお願いいたします。

【確かな学力】

- 「わかりやすい授業」については、6月とほぼ同様の結果で肯定的評価が88%を上回っています。今年度は、外部講師を招聘して授業研究会を実施することができ、講師の助言を受け、各学年でよく協議しながら授業改善に努めています。今後も、授業における、大型提示装置や書画カメラ、タブレット等のICT機器やデジタル教科書等の活用を進め、どの子もわかる授業づくりに努めていきます。
- 「自分から調べる」の項目は、6月に比べて12月の肯定的評価が上回りました。2学期以降、4年生以上に配付されたタブレットを活用した学習が定着し、様々な教科で調べ学習や発表資料の作成等、授業に対して意欲的に取り組む児童が増えています。1月には、1年生から3年生にも配付されるので、活用方法等を各学年で検討し、自ら学ぶ機会をさらに増やしていきたいと思ひます。
- 「よく読書をしている」の項目では、肯定的評価の割合に変化はありませんが、「そう思わない」の回答が6月に比べて3ポイント増えています。児童一人一人の読書に対する意識をどのように高めるかが今後の課題です。冬休み中の読書の啓発を行いました。今後も、「うちどく」リーフレットを活用していただき、ご家庭と連携して読書活動を進めていきたいと思ひます。

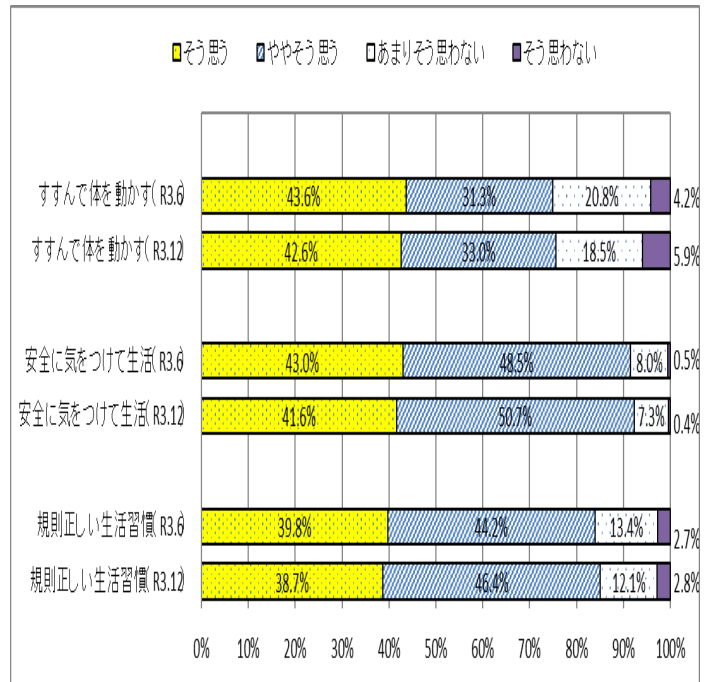
【豊かな心】

- 「すすんであいさつ」の項目は、6月、12月ともに保護者アンケートの肯定的評価が70%台となっていますが、今年度9月に実施した児童アンケートの結果（80%台）と開きがあります。学校では、委員会による「あいさつ」運動を実施し、放送朝会等で校長があいさつについて話すなどしており、校内で子供たちはよく挨拶をしている様子が見られます。今後も、ご家庭にご協力いただき、あいさつの大切さを子供たちに伝えていきたいと思ひます。
- 「やさしく関わる」の項目については、前期、後期ともに90%を上回る高い評価となっています。しかし、子供同士のトラブルはありますので、子供の様子をよく見て、子供の話をよく聞き、保護者も交えて子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。また、感染の状況が落ち着いている間に、学年での活動や、6年生と1年生のなわとび交流などのペア学年の交流を実施するなど、子供たち同士で関わる機会を増やし、相手を思いやる気持ちを育てていきたいと考えています。



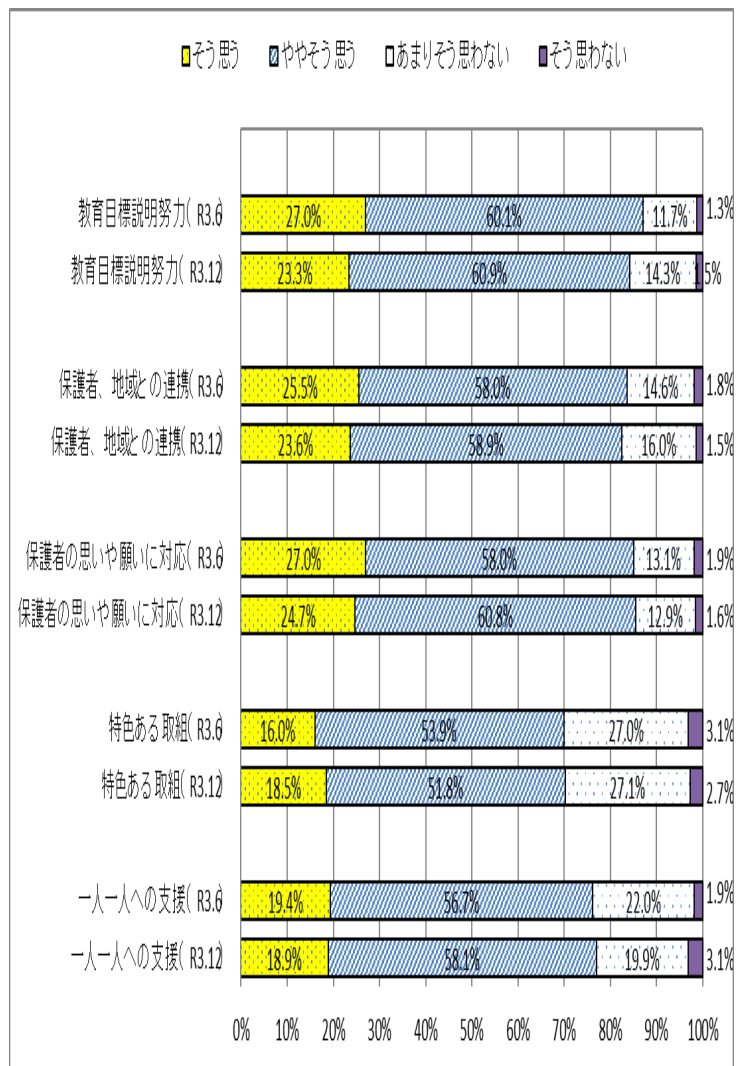
【健やかな体】

- すすんで体を動かすについては、休校があった昨年度よりも、6月、12月ともに肯定的評価が向上しています。しかし、そう思わない、の評価が増えているのは、ゲーム機器などによる遊びが増えていることへの心配によるものではないかと思われます。
- 「規則正しい生活習慣」の項目は、肯定的評価が6月、12月ともに90%を上回っています。しかし、高学年になるほど、ゲームやSNSの長時間視聴により寝不足の様子が見られています。ゲーム機やスマートフォン等のメディア機器を使う時間を自分自身でコントロールする「メディアコントロールチャレンジ」を実施するなど、将来を見据えて、生活習慣改善につながるような取り組みを進めていきます。



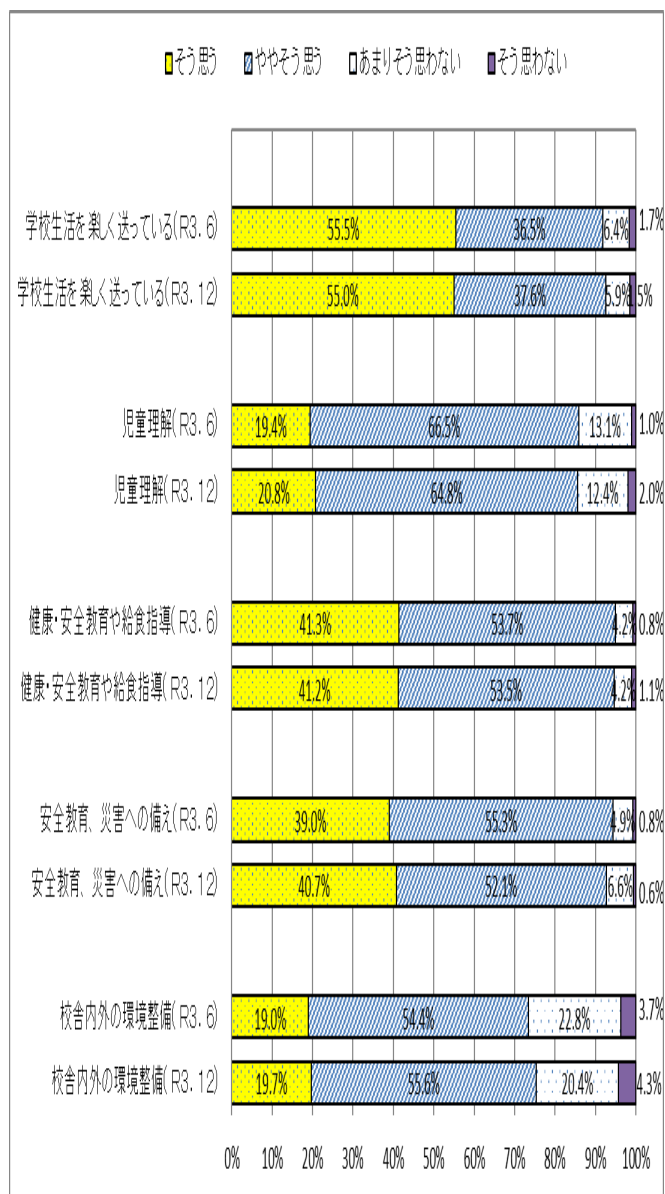
【信頼される学校】

- 「教育目標説明努力」について、肯定的評価が80%を上回ってはいますが、12月はやや評価が下がっています。今後もホームページや学校だよりなどによる情報発信に努めていきます。ぜひホームページをご覧ください。また、各学年で学校教育目標達成を目指した学習活動を進めており、子供たちに話す機会があるごとに、「未来を創る」の意味を伝え、自分の未来を考えてもらえるよう努めています。
- 保護者、地域との連携の評価が12月はやや下がっていますが、肯定的評価が80%を上回っています。今年度も、コロナ禍により「おにたかっこ祭り」等の地域行事が中止となっていますが、PTA活動や、地域のボランティア団体「六中ブロックコミュニティクラブ」による活動が再開されています。また、今年度より、鬼高、鬼越の自治会にカラー印刷をした学校だよりを配付しています。今後も、今の状況下でできることを探していきたいと思えます。
- 「一人一人への支援」の項目が、6月、12月ともに肯定的評価が70%台となっています。教員は、支援に努めていると思えますが、学級によって差があったり、コミュニケーション不足があったりすることが考えられます。今後も、全職員で子供たち一人一人に対する理解を深め、適切な支援ができるよう努めていきます。



【学校独自項目】

- 「学校生活を楽しく送っている」の項目が、6月、12月ともに90%を上回っています。今年度もコロナ禍により学校生活や授業内容について制限することが多い中、学校全体で授業を工夫し、学校行事の実施に向けて綿密な計画、対策を立てて取り組んだことが評価につながっていると考えます。特に後期は5、6年生の宿泊行事を実施することができ、子供たちだけでなく、保護者の方にとっても大きな安心と喜びにつながったと感じています。バスによる校外学習を実施しなかった学年も代替え行事を工夫し、お弁当等ご協力のおかげで、児童は楽しんで取り組むことができました。
- 「安全教育、災害への備え」については、後期に1年生対象の引き渡し訓練や避難訓練（火災）を実施し、非常時における実際の動きを子供たちや保護者と確認できたことが評価につながったと考えます。また、大雨による通学路の冠水が起りやすいため、暴風雨等が予想される場合は、保護者メールを活用して早めの周知に努めており、保護者の皆様にもご協力いただいています。
- 「校舎内外の環境整備」については、毎月安全点検を実施し、修繕が必要な箇所は用務員や教育委員会と連携し、迅速に対応しています。トイレの改修などについては、教育委員会への依頼を繰り返し行っています。また、保護者ボランティアの「おやじの会」が定期的に校庭の側溝清掃を実施して下さり、校庭の水はけが改善されました。今後も、学校・家庭・地域と連携しながら、環境整備を進めていきたいと思ひます。



【自由記述】

百人一首大会や辞書引き大会などの行事再開や、冬季の体育における服装（長袖インナー等の着用）、配付物が重複しないよう家庭数配付の徹底、児童が発行する新聞の内容の充実、トイレの改修など、具体的なご意見をいただきました。また、「校長先生の学校だよりの内容が充実していて、とても分かりやすくありがたい。」「子供が毎日楽しく学校に行っていることが何よりなので感謝している。」など、うれしい感想もありました。

校舎の老朽化による施設設備の改修に関する事など、予算を要するものは教育委員会と相談する必要がありますが、皆様からいただいたご意見を参考に、校内で検討し改善できることについては、コロナ感染拡大状況も踏まえながら、3学期の学校運営に生かせるよう努めてまいります。